|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理番号 |  |  |

**公益財団法人 セコム科学技術振興財団**

**令和5年度 挑戦的研究助成**

**研　究　助　成　申　請　書　（書式C－１）**

**1年目用**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　　年　　　月　　　日

公益財団法人 セコム科学技術振興財団 御中

　　　　　　　　　　　　　　　（ふ　り　が　な）

申請者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日　　１９　　　年　　　月　　　日（　　歳）

（令和6年4月1日の年齢を記入して下さい↑）

私は、令和5年度 挑戦的研究助成 募集要領の記載内容を全て了解し、その内容を遵守することを誓い、　　　　以下の通り申請致します。

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 |  |
| 所属部署（研究科、専攻、学部、学科等） |  |
| 職名（助教等） |  |
| 所属機関の郵便番号所在地電話番号メールアドレス所属部署の最寄り駅 | 〒電話：　　　　　　　　　　　　　　　　　（確実に連絡できる番号：携帯可）E-mail：（例：JR○○線○○駅など） |

注１：各項目内の朱筆部分は記入における留意点等です。朱筆部分をすべて削除の上、本文を記載下さい。

注２：各項目の記入スペースは仮に設定したものです。必要に応じて自由に定めて下さい。

注３：本書式は、「６．研究内容と研究計画」に添付する研究全体のイメージ図を含め10ページを上限とします。

|  |
| --- |
| 1. **研究課題名**

目標とする研究成果などが分かるように４０字以内で具体的且つ簡潔に課題名を記入して下さい。また、募集要領を参照し、以下に応募するテーマ番号を選び■印をつけて下さい。□ テーマ１　　□ テーマ２　　□ テーマ３  |
| **２．研究期間**　令和6年4月1日　～　令和○年3月31日　（○年間）全体の研究期間が、2年間または3年間となるように記入して下さい。 |
| 1. **助成金希望額**

令和5年度　　　　　令和6年度　　　　　　令和7年度　　　　　　（令和6年度実施）　　（令和7年度実施）　　（令和8年度実施）　　　　　　　　　１年目　　　　　　　　２年目　　　　　　　　３年目　助成金希望額（　　　　 　 ）　　　（　　　　　　）　　　（ 　　　　　 ）　　合計（　　　　　　）単位：万円研究計画、助成金使用計画に基づき、金額を記入して下さい。テーマごとに上限額が異なりますのでご注意ください。３年目の欄には、研究期間が３年間の申請者のみご記入下さい。１万円以下の端数は切り上げて記入下さい。 |
| 1. **研究概要（背景・目的・解決手段・目標）**

研究全体の背景、目的、解決手段、目標を異分野の人にも分かるように平易に記入して下さい。詳細は「６．研究内容と研究計画」で記入して下さい。本欄では特に、どのような（技術的）課題に挑戦するのか、どのような点が挑戦なのか、どのような手段で課題を解決しようとしているのかについて、明確にご記入下さい。　本欄は、１ページの分量に収まるように記入して下さい。 |
| 1. **研究課題設定の意図**
2. 貴研究の独創性・新規性
3. この分野における先行研究、類似研究との違い
4. 安全安心な社会の実現への貢献の可能性

をそれぞれ記述して下さい。先行研究、類似研究が存在しなければ、その旨を記述して下さい。 |
| **６．研究内容・研究計画・成果目標**研究期間全体に亘る研究内容・研究計画・達成すべき成果目標を年度毎に具体的に記入して下さい。必要に応じて図や表を挿入しても構いません。必要に応じて、各種倫理委員会、官庁の許可、共同研究者の参加了解等の見通しについて記入して下さい。※研究全体のイメージを、PPT等により１ページで作成し、別紙として添付して下さい。※イメージ図を含め、本書式全体が10ページ以内となるようにして下さい。 |
| **７．申請者の略歴、発表論文等**1. 申請者の略歴

学歴、所属研究機関、各時期の主な担当研究項目を記入して下さい。1. 近年発表した主な研究論文

申請者が、近年に学術誌等に発表した論文等のうち、主なものを数編選んで記入して下さい。また、本欄は１ページの分量に収まるように記入して下さい。 |
| **８．研究実施体制（申請者及び共同研究者の役割／分担）**氏名、生年、所属機関、職名、本研究における主な役割／分担を記入して下さい。共同研究者を設ける場合、申請者の役割が、研究統括だけなどとならないよう十分ご注意下さい。申請者の方が、本研究を中心的に実施される体制となるようにして下さい。共同研究者には、事前に参画の了解を得ておいて下さい。共同研究者も39歳以下である必要があります。 |
| 1. **本研究に関連して他の機関から受けた、或いは受けている助成、又は他に申請している助成**

本研究課題に関して申請者又は共同研究者がこれまでに受けた過去３年以内の全ての助成について、助成元又は助成制度、研究課題名、金額、期間を記入して下さい。また現在助成を申請しているものがあれば記入して下さい。もし該当するものがなければ、その旨を記入して下さい。 |
| **１０．助成金の使用計画内訳**研究に関する経費使用計画内訳を、年毎に、人件費、機器・ソフトウェア購入費、消耗品費、旅費、材料費、会議費、委託費、印刷・複写費、その他などに区分して記入して下さい。研究開始後は、本欄に記入して頂いた使用計画に従い使って頂くことになりますので、実際の使用が見込める計画を記入して下さい。次の年への移行審査の際に、研究助成金の使用状況も審査対象となります。また、助成金の使途実績について、領収書などの書類の提出を求めることがあります。人件費の計上も可能ですが、毎年の審査により研究助成金交付の可否が決定されますので、雇用契約を締結される際には十分ご注意下さい。共同研究者が申請者とは異なる大学に所属する場合は、大学ごとに分けて作成して下さい。但し、助成金は申請者の所属する大学へ全額を振り込み致します。選考により決定された助成金額が、３．の助成金希望額と異なる場合は、選考結果通知後に再度使用計画内訳をご提出頂き、その記載内容に従い振り込み致します。 |
| **１１．推薦者の職名、氏名、公印**学長、大学院研究科長、学部長、研究所長など所属機関の上長の推薦を受けて下さい。推薦者の公印が必要です。個人印は認められませんのでご注意下さい。なお当財団の役員若しくは評議員は推薦者になれますが、当財団の全ての選考に関わる委員は推薦者になれません。 |

本申請書に記載される個人情報は以下の目的に限定して利用いたします。

1. 研究助成選考及びそれに関係する申請者への連絡
2. 研究助成対象の研究課題名、助成金額、研究者の氏名､職名、所属機関名の公表
3. 当財団から申請者への情報提供

法令により許される場合を除き、申請者の同意を得ずに、上記利用目的の変更を行うことはありません。